

宮城県古川工業高等学校 [全日制課程 (土木情報科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県古川工業高等学校全日制課程は、「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
- 協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
- 社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
- 工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
- 土木情報科では，土木に関する基礎的・基本的知識と技術を習得するとともに，主体的・能動的な態度を養います。
- 土木技術者として技術や倫理を学習するために，就業体験活動を実施し，技術者としてのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図ります。
- 地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
- 多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
- 基本的な生活習慣と規範意識が身につけており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
- 常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
- 土木に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
- 部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	土木情報科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	建築科、電気電子科、機械科、化学技術科	
	共通選抜		
	募集人数	26人（募集定員の 65 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	14人（募集定員の 35 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する14人の200%の範囲に含まれる者（28人）を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 525点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県古川工業高等学校 [全日制課程 (建築科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県古川工業高等学校全日制課程は、「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
- 協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
- 社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
- 工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
- 建築科では，建築に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，現代社会における建築の意義や役割を理解させるとともに地域や産業界との連携を図り，就業体験活動を通し職業観や倫理観を養い，建築と社会の発展を図る創造的な能力・実践的な態度を養います。
- 地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
- 多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
- 基本的な生活習慣と規範意識が身につけており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
- 常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
- 建築に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
- 部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	建築科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	土木情報科、電気電子科、機械科、化学技術科	
	共通選抜		
	募集人数	26人（募集定員の 65 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	14人（募集定員の 35 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する14人の200%の範囲に含まれる者（28人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 525点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県古川工業高等学校 [全日制課程 (電気電子科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県古川工業高等学校全日制課程は、「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
- 協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
- 社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
- 工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
- 電気電子科では，電気・電子・通信・情報に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，種々の資格取得を奨励し，技術革新や産業構造等の多様化に対応出来る能力を養い，産業界で幅広く活躍できる技術者を養います。
- 地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
- 多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
- 基本的な生活習慣と規範意識が身につけており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
- 常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
- 電気電子に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
- 部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	電気電子科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	土木情報科、建築科、機械科、化学技術科	
	共通選抜		
	募集人数	26人（募集定員の 65 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	14人（募集定員の 35 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する14人の200%の範囲に含まれる者（28人）を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 525点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県古川工業高等学校 [全日制課程 (機械科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県古川工業高等学校全日制課程は、「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
- 協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
- 社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
- 工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
- 機械科では機械に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，技術革新に対応できる柔軟な能力と実践的な態度を育み，機械工業およびこれに関連する諸分野の業務に従事できる幅広い機械技術者の育成に対応した学習を行います。
- 就業体験活動や職業資格の取得などを通して，職業感や勤労観さらに倫理観を育てます。
- 地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
- 多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
- 基本的な生活習慣と規範意識が身につけており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
- 常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
- 機械に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
- 部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	機械科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	土木情報科、建築科、電気電子科、化学技術科	
	共通選抜		
	募集人数	52人（募集定員の 65 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	28人（募集定員の 35 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する28人の200%の範囲に含まれる者（56人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 525点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県古川工業高等学校 [全日制課程 (化学技術科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県古川工業高等学校全日制課程は、「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
- 協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
- 社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
- 工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
- 化学技術科では，化学工業およびこれに関する諸分野の基礎的・基本的な知識と技術を習得させるとともに，材料・バイオテクノロジー・情報技術等に関する知識と技術を積極的に取り入れ，最新の化学技術に幅広い視点で柔軟に対応できる能力と主体的・実践的な態度を養います。
- 地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
- 多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
- 基本的な生活習慣と規範意識が身につけており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
- 常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
- 化学に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
- 部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	化学技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	土木情報科、建築科、電気電子科、機械科	
	共通選抜		
	募集人数	26人（募集定員の 65 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	14人（募集定員の 35 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する14人の200%の範囲に含まれる者（28人）を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 525点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	